



ya!

やあ!

URL:<http://tia21.or.jp/>

E-mail:tia@tia21.or.jp



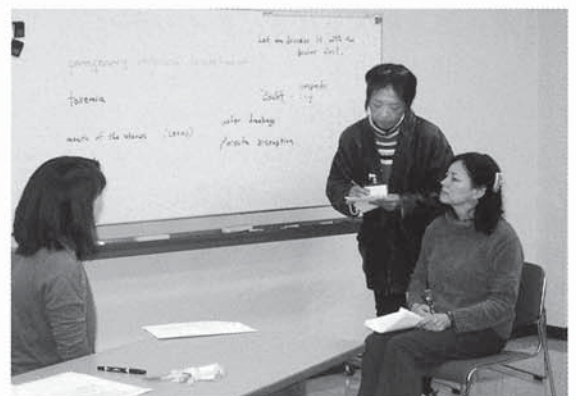
▲診察場面での通訳のデモンストレーション

「医療通訳ボランティアセミナー」

外国人と医療機関が安心して受診・診療できるように必要な通訳について学ぶ「医療通訳ボランティアセミナー」を、平成 22 年 9 月 4 日(土)から 4 日間にわたってとちぎ国際交流センターで開催した。通訳可能な方や医療関係者等 42 名が参加し、NPO法人多言語社会リソースかながわ(MICかながわ)より講師を迎え、医療通訳の心構えや役割について学んだ。

医療通訳の現場が具体的にわかるよう行ったデモンストレーションでは、お金のない妊婦が通訳に泣きついたり、患者と通訳の長すぎるやりとりで医師がいらだつシーンなども盛り込まれ、通訳の良いパターンと悪いパターンを紹介した。その後はさまざまな診察場面において、医師と外国人患者を通訳する実習を各言語に分かれて行った。

このほか、栃木県済生会宇都宮病院看護師・福富規子さんによる外国人の健康問題や病院にかかる時の注意点について、自治医科大学附属病院医療ソーシャルワーカー・小島好子さんによる外国人の保険問題や高額医療制度についての講演が行われた。



▲医師役・患者役の話を正確に通訳する実習

2010 年 12 月号

No.113

Winter

- ◆トピックス 災害時通訳ボランティア養成セミナー、初めての英会話
フランス高校生受入、TIA 相談員・通訳協力者研修会ほか
- ◆やあ! クローズアップ とちぎインターナショナルフェスティバル 2010
- ◆国際交流団体紹介 ベトナムボランティアグループ栃木
- ◆ようこそとちぎへ 平成 22 年度栃木県海外技術研修員

トピックス Topics

災害時通訳ボランティア養成セミナー「災害多言語支援センターの役割」



▲避難所シミュレーションで、巡回の準備のために田村氏(中央)からレクチャーを受ける参加者

今年度で3年目になる災害時通訳ボランティア養成セミナーを8月7日(土)、とちぎ国際交流センターで、多文化共生センター大阪代表理事の田村太郎さんを講師に迎え開催した。

今回テーマの「災害多言語支援センター」とは、災害時に外国人支援のために活動する通訳・翻訳ボランティアやコーディネーターの活動拠点となる場所で、参加者たちは、田村さんから支援センターの機能を学ぶとともに、避難所シミュレーションとして、外国人が避難している避難所の巡回のための準備や、避難外国人への通訳訓練を行った。また、災害時特有の相談や手続きのために被災外国人が役所に来たという想定で、窓口通訳訓練にも挑戦した。

セミナーには、県内の国際交流協会職員、国際交流団体会員、通訳ボランティアなど43名が参加した。

「はじめての英会話」

TIAでは、県民向けの語学講座「はじめての英会話」を10月7日から毎週木曜日に実施している。講師は日本人に対する英語指導歴が長く、日本語が堪能なイギリス人のマーク・マコーマックさん。受講者は男女ほぼ半々で18名。授業では、マコーマック氏がイギリス居住時に開発に携わったというオリジナル教材をもとに、ゲームやフリートークでさまざまな英語表現を学ぶと同時に、日本と外国との違い等についても説明を受ける。受講者は、和気あいあいとした楽しい雰囲気の中で、英会話と異文化コミュニケーションの能力向上に励んでおり、回を重ねるごとに英語に慣れ、講師との会話を楽しむ姿が増えてきた。講座は全10回で、12月9日に終了予定。



▲「はじめての英会話」の授業風景

「栃木県日仏青少年短期研修事業 フランス高校生受入」



▲宇短大附属高校で調理実習を体験するフランス高校生

栃木県と友好交流を行っているフランス・ヴォークリューズ県から、アレクサンドル・ドュマ高校(カヴァイオン市)のレストラン学科に所属する高校生5名が、同県議会職員の見学のもと、10月25日(月)から11月6日(土)までの13日間来県した。

一行は日光、足利、東京など県内外を視察した後、宇都宮短期大学附属高等学校で10月29日から11月5日までの1週間、生徒宅にホームステイしながら体験通学を行い、ホストシスター・ブラザーと一緒に授業を受けたり、調理科の生徒と和食、中華、製菓などの調理実習を体験した。

5名のフランス高校生は、この滞在を通して、日本のさまざまな文化やライフスタイルを学ぶとともに、多くの高校生と友情をはぐくむことができた。

「栃木県外国人地域支援室に新メンバー」

10月から当協会の外国人地域支援室にアドバイザーとして加島ダニエレさんが加わった。ブラジル出身で日本語、ポルトガル語のできるバイリンガル。加島さんは、「外国人が日本で暮らすうえで、最も難しい点はコミュニケーション能力不足だと感じます。私も日本に来てからの12年間、さまざまな困難を感じたことがありました。異文化を初め、学校、役所や医療機関での難しさを身にしみて感じてきました。しかし、日本語が上達するにつれて、これらのことが徐々に解決されていく経験もしてきました。この仕事を通して、自分と同様の苦勞をしている外国人がたくさんいると実感しています。今後は、先輩方の指導の下で自分が困惑した点を生かし、一人でも多くの方のお力になれるように頑張っていきたいと思っています。」と意欲満々に語ってくれた。大いに期待しよう。



▲日本語を教える加島さん

「TIA 相談員・通訳協力者研修会」



▲改正入管法の説明をする佐藤さん

10月9日(土)、外国人相談及び通訳協力に従事している方々を対象にした研修会をとちぎ国際交流センターで開催した。参加者は32名。東京入国管理局宇都宮出張所所長の佐藤申さんが、入管法の改正点、違反した場合の手続き、出国命令制度等を説明、その後、栃木県行政書士会理事の深見史さんが在留資格関係のケーススタディを行い、複雑な事例を基に詳しい解決方法等を学んだ。続出する質問に講師は丁寧に応じ、有意義な研修会となった。



▲解決方法を熱心に話す深見さん

やあ！クローズアップ とちぎ国際ナショナルフェスティバル2010

今年も「とちぎ国際ナショナルフェスティバル2010」が、わくわくグランディ科学ランドで10月2日(土)に盛大に開催されました。今年には天候に恵まれ、出展ブースも過去最多で、フェスティバルも数えること21回目となりました。ステージショーも毎年恒例のものから今年初という演目まで多種多様なショータイムとなり、会場の人々もステージの人たちと一緒にダンスに参加して楽しい時間を過ごしました。各団体の試食コーナー、民族物産販売コーナーなど盛りだくさんの内容で、約5,000人の来場者があり、多くの外国の方の姿も見られました。

ご協力いただいた国際交流・国際協力団体の皆さま、本当にお疲れさまでした。



◀会場を練り歩いて、来場者を歓迎する中国の獅子舞

▼インドネシアの孔雀のような舞



▲会場を魅了したオルケスタ・デ・ゴじゃる！の演奏



▲たくさんの方々にご来場いただきました。

国際交流団体紹介 「ベトナムボランティアグループ栃木」

ベトナム戦争が終わってから35年になりました。戦争中にアメリカ軍に枯葉剤を撒かれて、戦争になってからはお米を作ることができないの

で、毎日私たちの食事は芋ご飯とおかゆでした。戦争の影響を今も受けている子どもたちがいます。自分たちの小さい頃も貧しかったので、今の貧しい子どもたちを



▲8月に開催した日本とベトナムの交流会

を見ると、自分たちの幼い時のことを思い出します。ふと、この子どもたちに何かしてあげたい、なんとかしてあげたいという気持ちになります。その子どもたちを支援するために県内に住んでいるベトナム人がみんなで協力して、この「ベトナムボランティアグループ栃木」を設立しました。

最近できたグループなので、市のイベント等にはまだ参加していませんが、自分たちの計画で8月にベトナムと日本の交流会を開催し、多くの参加者でにぎわいました。また、ベトナムの歌のカラオケ大会も開催しました。

今年、初参加になりますが、「とちぎ国際ナショナルフェスティバ



▲とちぎ国際ナショナルフェスティバル2010でベトナムの舞踊披露

ル2010」では、ベトナム料理の紹介ブースやベトナムの伝統衣装であるアオザイを着て、ステージで私たちグループの会員がベトナムの踊りを披露させていただきました。初めての

試みでとても緊張しましたが、たくさんの人に見に来ていただけていい経験になりました。今後は、お正月にベトナム人のイベントを開催する予定です。いろいろなイベントを開催することにより、県外や県内に住んでいるベトナム人が集まれる機会を作りたいと思っています。また、いろいろな人々との交流を通じて、もっと楽しく生活していきたいと思っています。日本のみなさん



▲ベトナムの歌のカラオケ大会

どうか応援してください。(文：斉藤里花)

ようこそとちぎへ Welcome to Tochigi

平成 22 年度栃木県海外技術研修員

9月1日(水)に、海外技術研修員が栃木県にやってきた。今年の研修員は中国、ブラジルの2か国3名で、1か月半の日本語研修を終了後、各自の専門技術を磨くため、各研修機関で研修を行っている。約5か月の研修後、来年の1月末に帰国する予定。

①氏名 ②性別 ③国籍 ④年齢 ⑤推薦機関 ⑥専門研修科目 ⑦研修機関

■ ①小平カリナ(てるみ) KODAIRA KARINA TERUMI ②女 ③ブラジル連邦共和国 ④25歳 ⑤在伯栃木県人会 ⑥建築 ⑦株式会社フケタ設計

■ ①許 晶虹(きょ しょうこう) ②女 ③中華人民共和国 ④32歳 ⑤浙江省人民政府 ⑥医療 ⑦栃木県立がんセンター



▲とちぎインターナショナルフェスティバルで初めて着物を着て嬉しそうな研修員たち(写真左から許さん、小平さん、蔡さん)

■ ①蔡 娟(さい けん) ②女 ③中華人民共和国 ④27歳 ⑤浙江省人民政府 ⑥環境保護 ⑦栃木県環境森林部環境保全課

JICA 情報局

栃木県 JICA ボランティア家族連絡会のお知らせ!

栃木県出身の JICA ボランティアが累計で 500 名を突破しました。今後も世界中で活躍する JICA ボランティアですが、家族や市民の理解があってこそボランティア活動です。

そこで平成 23 年 1 月 22 日(土)、JICA ボランティアのご家族や市民の皆さんを対象にした「JICA ボランティア家族連絡会」を開催します。インターネットを利用して、海外で活動中の JICA ボランティアと生の会話や映像を楽しめるほか、活動報告会では、帰国後 KTC 中央高等学院(宇都宮校)で活躍中の中村明子さんが、協力隊の経験の活用法を伝えてくれます。家族同士のネットワークもつながりますので、ぜひお越しください!

【入場料】 無料

【場所】とちぎ国際交流センター2階

【時間】13:30~16:30(13:00 受付)

【問い合わせ】JICA 栃木デスク

((財)栃木県国際交流協会内)

TEL 028-621-0777

E-mail

jicadpd-desk-tochigiken@jica.go.jp



ご家族の皆さまの質問・疑問にお答えしませ
平成22年度栃木県
JICAボランティア家族連絡会
日時：1月22日(土) 13:30~(13:00受付開始)
場所：とちぎ国際交流センター 2階

13:00~13:30	受付	プログラム(予定)
13:30~13:40	主催者代表挨拶	
13:40~14:15	JICAボランティア事業概要とJICAの支援体制 (安全対策、健康管理等・帰国後)について	
14:15~14:20	質疑応答	
14:20~14:50	帰国ボランティア報告会	
15:00~15:30	つなごう!栃木と派遣国 ~Skypeで栃木と派遣国をつなごう~	
15:30~16:25	地域別懇話会 ~ご家族の皆様とOB/OGとの懇話会です~	
16:25~16:30	主催者代表挨拶	

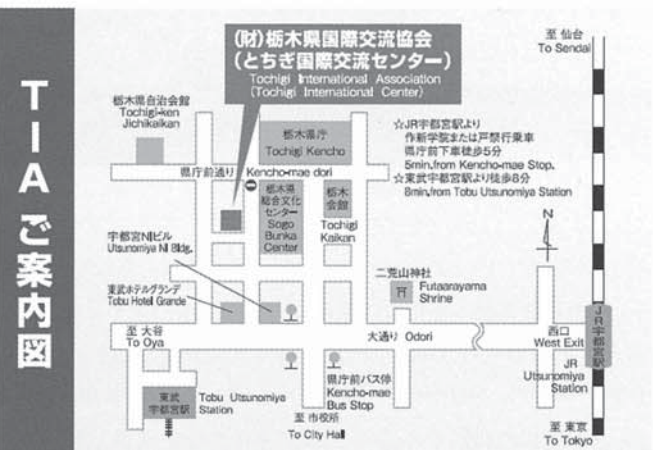
財団法人栃木県国際交流協会では、各種イベントの案内、事業等を紹介したホームページを随時更新中です。このホームページは、日本語のほか、英語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語のページも開設しています。ぜひ一度ご覧ください。

URL <http://tia21.or.jp/>

TIA バナー広告募集中!

TIA のホームページにバナー広告を掲載してみませんか? 詳しくは下記 URL をクリック!

<http://tia21.or.jp/banner.html>



編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会
住所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
FAX 028-621-0951
業務時間 8:30~17:15
休館日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日